

# 訪問介護

濱田弥生

2020年1月、最初のコロナウィルス感染者が確認されてからまる3年が過ぎようとしています。いまだ終息の見込みなく第8波が来る予想になっています。

以前のような行動制限新年を迎えることができるか疑問ですが、終息を祈るばかりです。

事業所内では年賀状の図柄候補を選び、2023年の年賀状を決める回覧板が回っていますが、我が家では昨年に続き今年も喪中はがきを選んでいきます。

今は何でもネットで注文できる時代で喪中はがきの図柄も薄墨モノクロから淡い色合いの背景や花など種類も豊富で、納期も早くてびっくり

しました。人件費がかからないから割引も沢山あり、宛名も娘の力を借りスマホから入力したら無料で印刷してくれて早々に喪中欠礼を出すことができました。



また、コロナ禍で対面の出会いが減る中、定着しつつあるのがマッチングアプリ。今年結婚した人の22.6%、5人に1人がマッチングアプリの出会いから結婚に至ったそうです。

何でもネットで調べて、買って、売って、出会ってとできる時代だがその中には犯罪やトラブルに巻き込まれる場合もあり、子供や不慣れな高齢者予備軍の私は慎重にやらないと怖いなと思います。

でも若い人たちのように上手に活用すれば、時短でお得で本当に便利な時代だなあとも思いました。